



## 石造宝篋印塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうほうきょういんとう
所在地	久米南町仏教寺
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	<p>佛教寺は美作の古刹で、江戸時代には津山藩主森氏の庇護を受け、寛永13年(1636)の干ばつに際して行われた雨乞いに起源するとされる「バンバ踊」(県指定重要無形民俗文化財)は有名である。宝篋印塔は、花崗岩製で、総高166cm。基礎の四面に格狭間を入れ、塔身四方には蓮座に乗った胎蔵界四仏種子を月輪内に陰刻して、笠の四隅はほぼ垂直に立ち上がる。基礎に銘が刻まれており、文和3年(1354)、磊明[らいめい]の発願による造立が知られる。</p>
アクセス方法	JR弓削駅から車で約7分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ 
備考	